

**2019年度1期薬局-2期病院  
実務実習連絡会議**

**2019年9月27日（金）**

**城西大学**

## －目次－

1. 2019 年度 1 期薬局 2 期病院実習施設数および学生数	3
2. 薬局実習施設一覧（77 施設）	4
3. 病院実習施設一覧（39 施設）	5
4. 薬局実習の Web 入力概略評価：学生と指導薬剤師の比較	6
5. 薬局実習で学生の自己評価の低かった観点および SBO	7
6. 病院実習の Web 入力概略評価：学生と指導薬剤師の比較	12
7. 病院実習で特に学生の自己評価の低かった観点および SBO	13
8. Web 入力概略評価：薬局実習と病院実習の比較	14
9. 城西大学実務実習ルーブリック評価基準	15
10. 薬局実習の城西大学ルーブリック評価（指導薬剤師）	16
11. 病院実習の城西大学ルーブリック評価（指導薬剤師）	17
12. 城西大学ルーブリック評価：薬局実習と病院実習の比較	18
13. 2019 年度 1 期薬局 2 期病院態度評価分布	19
14. 実習態度（2019 年度 1 期薬局 2 期病院 154 名）	20
15. 2019 年度 1 期薬局 2 期病院実習成績評価方法	21
16. 2019 年度 1 期薬局 2 期病院実習成績	22
17. 実習中のトラブル事例（2019 年度 1 期薬局 2 期病院）	23

## 1. 2019 年度 1 期薬局 2 期病院実習施設数および学生数

	薬局	病院	合計
実習施設数	77	39	116
実習開始学生数	80	80	160
実習不可学生数	0	0	0
実習態度チェック票集計数	78	76	154

## 2. 薬局実習施設一覧（77 施設）

アイン薬局島根店
あおぞら薬局清水町店
あおぞら薬局川鶴店
あおぞら薬局長瀬店
あき薬局
あすなろ薬局入間店
薬局アポック毛呂山店
アポック川越センター前薬局 1 号店
アポック日高センター前薬局 1 号店
アロン薬局松原団地駅前店
飯田下伊那薬剤師会会営薬局
磯子センター薬局
ウイン調剤根岸台薬局
ウエルシア薬局春日部市立医療センター前店
おがの薬局
かすみ薬局
かばさん薬局
かみや調剤薬局足利南店
川口薬剤師会センター薬局
クオール薬局あすなろ店
クオール薬局あらじゅく店
クオール薬局浦和店
クオール薬局宮寺店
クオール薬局西宮下店
クオール薬局川越店
クオール薬局入間店
株式会社熊谷市薬剤師会会営薬局佐谷田店
グリーン薬局（八潮市）
くろき薬局黒浜支店
黒沢薬局
コスモ薬局新座店
こはる薬局
サイトウ薬局
サンテ薬局
しふり薬局
城西大学薬局
城西大学薬局毛呂本郷店
すえひろ薬局
すみれ薬局（さいたま市）
草加センター薬局

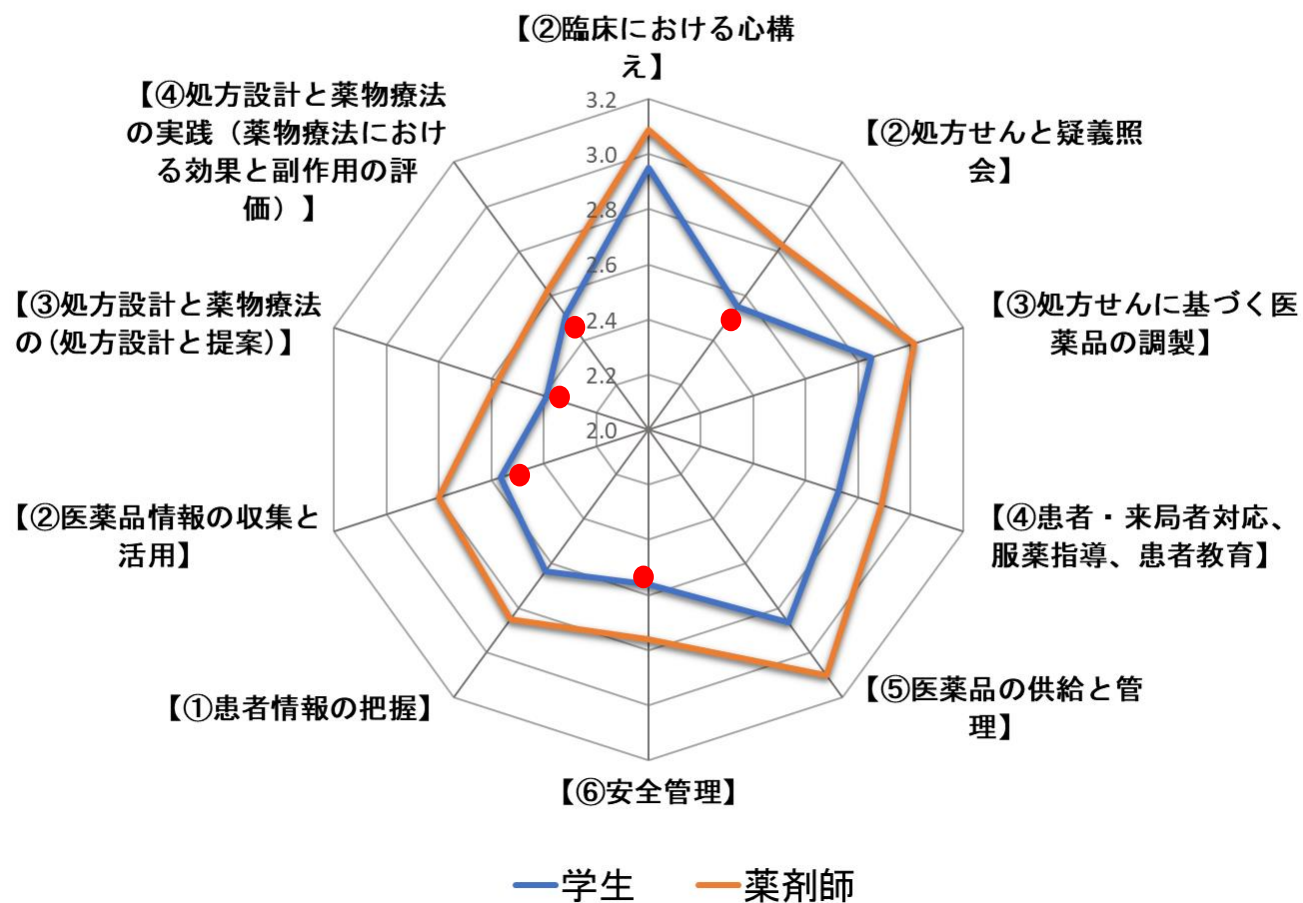
台場薬局
たかやま薬局
たから薬局さいたま新都心店
秩父薬剤師会調剤センター寺尾薬局
中央薬局
つつじ野調剤薬局
つばさ薬局（東松山市）
としまえん薬局
殿山薬局
ノムラ薬局市立病院前店
パーク薬局
ハート薬局武蔵台店
ピノキオ薬局小山店
ファーマシィ薬局大蔵
富士薬局中央店
ぺんぎん薬局緑町店
望星西新井薬局
ぼらりす薬局
一般社団法人松本薬剤師会会営村井薬局
みさき薬局（川越市）
みぬま薬局
みぶ薬局
むさしの薬局三原台店
薬樹薬局上小町
薬樹薬局草加
薬樹薬局吹上
有限会社やしお薬局
山口薬局中央店
やまと薬局千塚支店
ユニコ調剤薬局
横川町薬局
よこて薬局
寄居薬剤師会薬局
らんざん薬局
龍生堂薬局ふじみ野店
わかさ薬局
わかさ薬局東新井店

### 3. 病院実習施設一覧（39 施設）

上尾中央総合病院
伊奈病院
社会医療法人中山会宇都宮記念病院
小川赤十字病院
医療法人直心会帯津三敬病院
柏厚生総合病院
川口市立医療センター
群馬大学医学部附属病院
国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
医療法人社団美心会黒沢病院
埼玉県済生会川口総合病院
社会福祉法人恩賜財団済生会埼玉県済生会栗橋病院
埼玉医科大学病院
埼玉医科大学国際医療センター
埼玉医科大学総合医療センター
社会福祉法人埼玉慈恵会埼玉慈恵病院
さいたま市民医療センター
埼玉石心会病院
さいたま赤十字病院
社会医療法人刀仁会坂戸中央病院
桜ヶ丘中央病院
自治医科大学附属さいたま医療センター
医療法人秀和会秀和総合病院
医療法人花仁会秩父病院
津田沼中央総合病院
医療法人社団幸悠会所沢慈光病院
医療法人高仁会戸田病院
新座志木中央総合病院
埼玉医療生活協同組合羽生総合病院
東明会原田病院
東埼玉病院
深谷赤十字病院
公益財団法人結核予防会複十字病院
社会医療法人社団大成会武南病院
社会医療法人社団堀ノ内病院
社会医療法人財団仁医会牧田総合病院
三郷中央総合病院
八潮中央総合病院
成田赤十字病院

#### 4. 薬局実習の Web 入力概略評価：学生と指導薬剤師の比較

### Web入力概略評価（薬局）



## 5. 薬局実習で学生の自己評価の低かった観点および SBO

### 【③処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）】

観点	アウトカム	第4段階	第3段階	第2段階	第1段階
薬物療法の問題点の識別と処方設計及び問題解決	薬物療法の問題点の評価に基づき、問題解決策を提案、実践し、薬物療法を個別最適化する。※薬物療法の問題点の評価は、(3)①患者情報の把握及び②医薬品情報の収集と活用に基づく	薬物療法や生活習慣の問題点を重要性や緊急性を考慮して適切に識別し、現状評価を正確に行う。当該ケースにおける最善の解決策を見極め、提案する。論理的で実行可能な解決策を実行に移し、その結果を評価する。	薬物療法の問題点を主体的に識別する。問題点の現状評価を明確に行い、処方設計や他の解決策について検討し、論理的で実行可能な解決策を明示し、薬物療法の個別最適化を実践する。	常に、有効性、安全性、経済性の観点から問題点の識別と現状評価を行う努力をする。処方設計を含めた解決策について、主体的に検討し、当該ケースの薬物療法の個別最適化に努める。	薬物療法の有効性、アドヒアランス不良や腎機能低下時の投与量などの基本的な安全性の問題点を識別し、現状評価を行い、必要な処方設計を行う。

SBO	内容
1005	7. 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。
1006	8. 治療ガイドライン等を確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。
1007	9. 患者の状態（疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理・希望等）や薬剤の特徴（作用機序や製剤的性質等）に基づき、適切な処方を提案できる。（知識・態度）
1008	10. 処方設計の提案に際し、薬物投与プロトコルやクリニカルパスを活用できる。（知識・態度）
1009	11. 入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。（知識・態度）
1010	12. アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。（知識・態度）
1011	13. 処方提案に際して、医薬品の経済性等を考慮して、適切な後発医薬品を選択できる。
1012	14. 処方提案に際し、薬剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に判りやすく説明できる。（知識・態度）

【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】

視点	アウトカム	第 4 段階	第 3 段階	第 2 段階	第 1 段階
薬物療法の効果と副作用モニタリング	様々なモニタリング項目から患者状態を適切に評価し、薬物療法の効果と副作用モニタリングを実践する。	薬物療法に関する経過モニタリングを基に患者の状況を総合的に評価して、処方設計や問題解決につなげ、薬物療法のPDCAサイクルを効果的に回し、薬物療法の質の向上に貢献する。	評価した患者の状態に応じ、処方設計や問題解決につなげる。副作用を確認した場合は、副作用軽減化の対策を検討すると共に、副作用報告などの主体的な行動を取る。	有効性、安全性のモニタリングに必要な指標を継続的にモニタリングし、患者の状態を評価する。評価結果は、適切にカルテや薬歴などに記録する。	代表的な疾患を有する患者のケアに関わり、薬物療法の有効性、安全性を評価する指標を適切に指摘する。患者の状態をモニタリングするためのツールとして、臨床検査値の継続的な確認をする。

SBO	内容
1017	5. 薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方されている患者について、血中濃度測定のプロセスを提案できる。(知識・態度)
1018	6. 薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果および副作用について予測できる。(知識・技能)
1019	7. 臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。
1020	8. 薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。
1021	9. 副作用の発現について、患者の症状や検査所見などから評価できる。
1022	10. 薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を提案できる。(知識・態度)
1023	11. 報告に必要な要素（5W1H）に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。(技能)
1024	12. 患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。(知識・技能)
1025	13. 医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。(知識・技能)



【②処方せんと疑義照会】

観点	アウトカム	第 4 段階	第 3 段階	第 2 段階	第 1 段階
処方監査と疑義照会	処方監査と疑義照会を実践する。処方監査：患者情報と医薬品情報に基づき、処方の妥当性、適切性を判断する。疑義照会：必要に応じて、疑義照会の必要性を判断し、適切なコミュニケーションのもと実施し、記録し、次に活かす。最終的には、医師の処方行動に変容をもたらす。	患者個々の薬物療法におけるアウトカムを患者及び医療提供者と共有し、病状の経過・生活環境・ナラティブを考慮して、患者に提供される薬物療法の妥当性・適切性を的確に判断する。薬物療法におけるアウトカムを達成するために、疑義照会を行い医師の処方行動に変容をもたらす。	患者情報と薬学的知見を統合し、患者の薬物療法のアウトカムに照らし、処方の妥当性、適切性を判断する。必要に応じて、疑義照会を適切に行うと共に、チーム内で情報を共有する。	患者情報と処方されている医薬品の基本的な医薬品情報に基づき、処方の妥当性を判断する。疑義照会の必要性に気づき、実践する。	患者情報に基づき、処方せんの不備・不適切な点があれば指摘する。指摘した内容について疑義照会をし、その内容を適切に記録する。※患者情報は、(2)④患者対応及び(3)①患者情報の把握に基づく ※ 医薬品情報は、(3)②医薬品情報の収集と活用に基づく

SBO	内容
920	7. 処方せんの記載事項（医薬品名、分量、用法・用量等）が適切であるか確認できる。（知識・技能）
921	8. 注射薬処方せんの記載事項（医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等）が適切であるか確認できる。（知識・技能）
922	9. 処方せんの正しい記載方法を例示できる。（技能）
923	10. 薬歴、診療録、患者の状態から処方が妥当であるか判断できる。（知識・技能）
924	11. 薬歴、診療録、患者の状態から判断して適切に疑義照会ができる。（技能・態度）

【⑥安全管理】

観点	アウトカム	第4段階	第3段階	第2段階	第1段階
安全管理	当該施設における安全管理を実践する。	実践のなかで体験したインシデント、アクシデントや蓄積されたインシデント、アクシデントなどをもとに、当該施設の業務改善の提案をする。当該施設での感染対策（予防、蔓延防止など）について、問題点を指摘し、具体的な提案をする。	調剤における医療安全の意義をふまえて、当該施設で実施されている医薬品及び医薬品以外に関連した安全管理体制に従って薬剤師業務を実践する。必要に応じて医療安全に関する報告書を作成する。臨床検体・感染性廃棄物を適切に取り扱う。		当該施設で実施されている医薬品および医薬品以外に関連した安全管理体制、手順書等を確認し、その仕組みを理解する。調剤実習で経験した調剤ミスに関する議論を踏まえ、対策を実践する。医療現場における感染対策の重要性に留意し、スタンダードプリコーションを実践する。

SBO	内容
980	9. 調剤ミスを防止するために工夫されている事項を具体的に説明できる。
981	10. 施設内のインシデント（ヒヤリハット）、アクシデントの事例をもとに、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。（知識・態度）
982	11. 施設内の安全管理指針を遵守する。（態度）
983	12. 施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。（技能）
984	13. 臨床検体・感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。（技能・態度）
985	14. 院内での感染対策（予防、蔓延防止など）について具体的な提案ができる。（知識・態度）

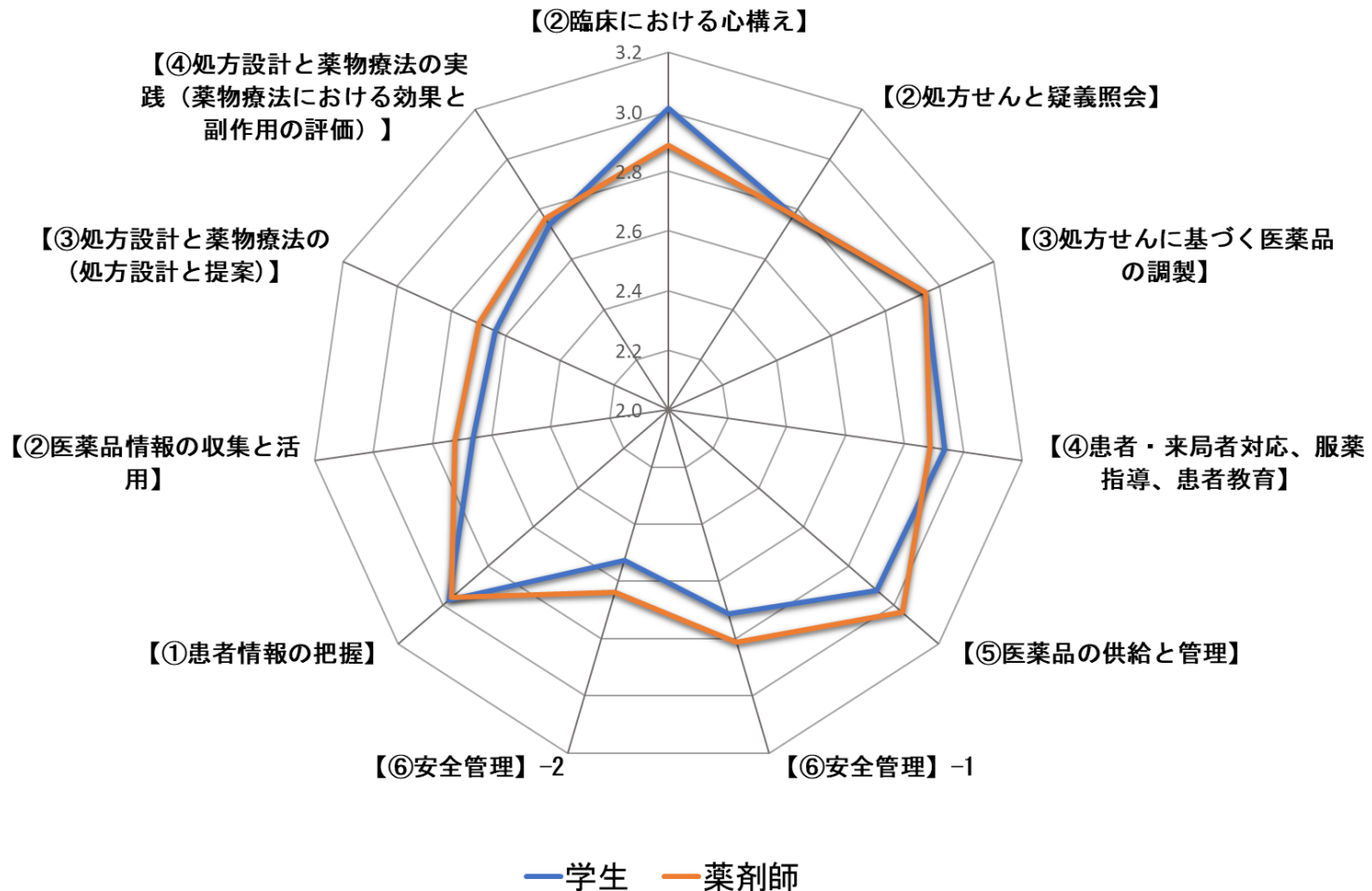
【②医薬品情報の収集と活用】

観点	アウトカム	第 4 段階	第 3 段階	第 2 段階	第 1 段階
医薬品情報の収集と評価・活用	薬物療法の評価等に必要な情報を収集し、得た情報及び情報源を批判的に評価し、効果的に活用する。	調査の目的に合わせて、最も適切な情報源を効果的に利用し、情報を収集する。得た情報及び情報源を批判的に評価し、活用する。不足する情報については、常に新たな情報を収集・整理し、エビデンスを創出するよう努力する。医薬品情報の取扱いや評価について、後進の指導を行う。	調査の目的に合わせて、一次資料（原著論文）も含めた適切な情報源を利用し、調査を実践する。得た情報を量的、質的に評価し、提供する。患者啓発や療の質向上に寄与する情報を主体的に作成・発信する意識を持つ。	調査の目的を明確にし、基本的な情報源に加え、複数の情報源を利用して調査を実践する。得た情報の評価を常に行い、情報提供者のニーズを踏まえて、患者や医療スタッフに提供する。	薬物療法の評価等に必要な基本的な情報源である医薬品添付文書、インタビューフォーム、診療ガイドラインなどを確認し、情報収集する。得た情報の評価を行う。

SBO	内容
994	2. 施設内において使用できる医薬品の情報源を把握し、利用することができる。（知識・技能）
995	3. 薬物療法に対する問い合わせに対し、根拠に基づいた報告書を作成できる。（知識・技能）
996	4. 医療スタッフおよび患者のニーズに合った医薬品情報提供を体験する。（知識・態度）
997	5. 安全で有効な薬物療法に必要な医薬品情報の評価、加工を体験する。（知識・技能）
998	6. 緊急安全性情報、安全性速報、不良品回収、製造中止などの緊急情報を施設内で適切に取扱うことができる。（知識・態度）

## 6. 病院実習の Web 入力概略評価：学生と指導薬剤師の比較

### Web入力概略評価（病院）



## 7. 病院実習で特に学生の自己評価の低かった観点および SBO

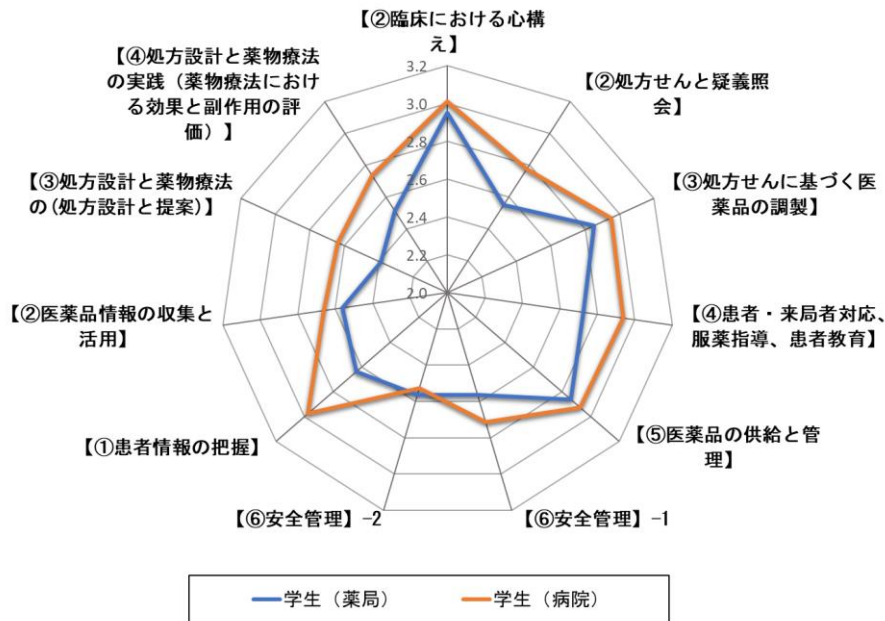
### 【⑥安全管理－感染管理】

観点	アウトカム	第 4 段階	第 3 段階	第 2 段階	第 1 段階
安全管理－感染管理	感染対策を理解し実践する。	感染対策(予防、蔓延防止など)について、具体的な提案をする。	感染対策(予防、蔓延防止など)について、問題点を指摘する。	感染予防に配慮し、臨床検体・医療廃棄物を適切に取り扱う。	実習施設の感染管理の規定に沿って行動する。

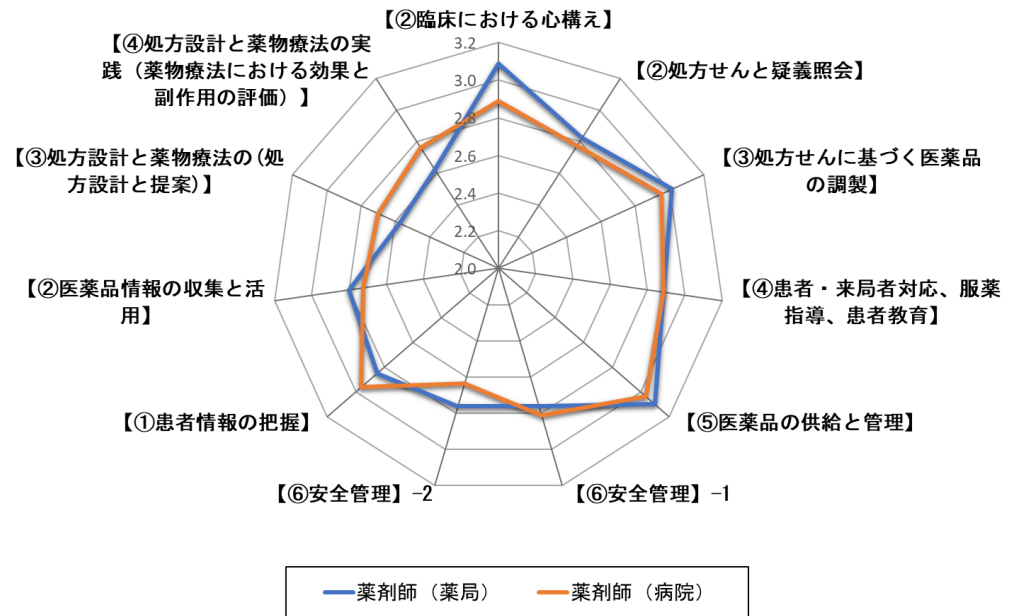
SBO	内容
979	8. 特にリスクの高い代表的な医薬品（抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等）の安全管理を体験する。（知識・技能・態度）
980	9. 調剤ミスを防止するために工夫されている事項を具体的に説明できる。
981	10. 施設内のインシデント（ヒヤリハット）、アクシデントの事例をもとに、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。（知識・態度）
982	11. 施設内の安全管理指針を遵守する。（態度）
983	12. 施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。（技能）
984	13. 臨床検体・感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。（技能・態度）
985	14. 院内での感染対策（予防、蔓延防止など）について具体的な提案ができる。（知識・態度）

## 8. Web 入力概略評価：薬局実習と病院実習の比較

Web入力概略評価薬局-病院比較（学生）



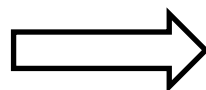
Web入力概略評価薬局-病院比較（指導薬剤師）



## 9. 城西大学実務実習ルーブリック評価基準

対応する薬剤師としての10の資質：

- 【薬剤師としての心構え】
- 【患者・生活者本位の視点】
- 【チーム医療への参画】
- 【薬物療法における実践的能力】
- 【地域の保健・医療における実践的能力】
- 【コミュニケーション能力】



変換

観点：

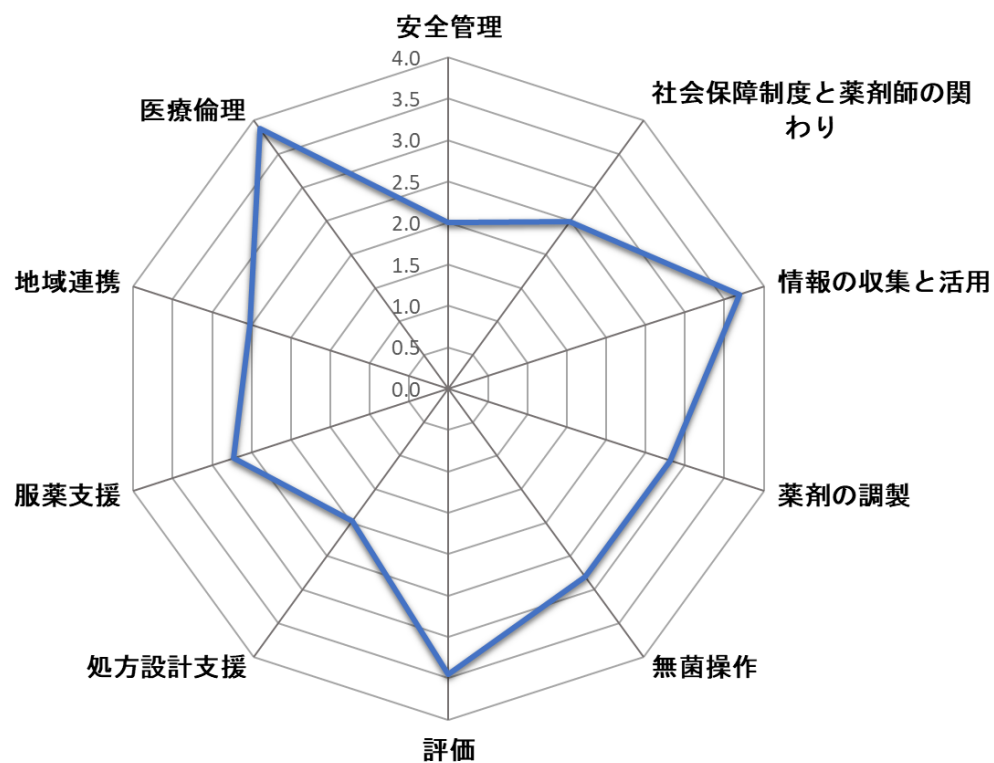
1. 【安全管理】
2. 【社会保障制度と薬剤師の関わり】
3. 【情報の収集と活用・啓発】
4. 【薬剤の調製】
5. 【無菌操作】
6. 【評価】
7. 【処方設計支援】
8. 【服薬支援】
9. 【地域連携】
10. 【医療倫理】

評価の基準：

- 4 キャップストーン： 薬剤師として目指すレベル
- 3 マイルストーン： 学生として理想とするレベル
- 2 マイルストーン： 学生として必要な、行動を伴うレベル
- 1 ベンチマーク： 知識のみにとどまり、十分行動に移せていないレベル

## 10. 薬局実習の城西大学ルーブリック評価（指導薬剤師）

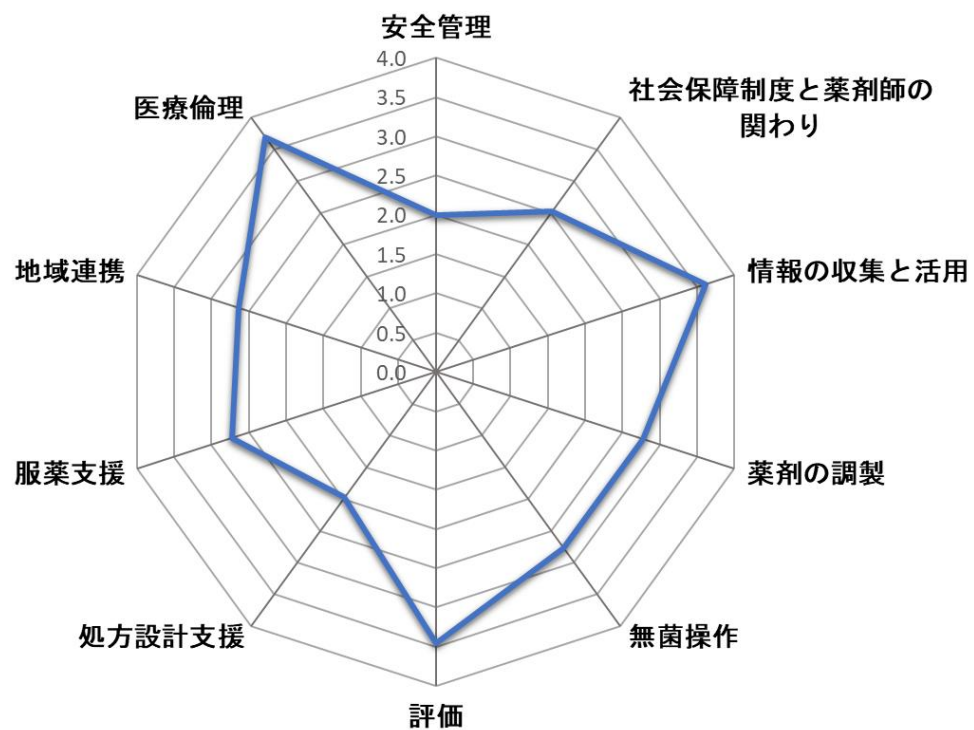
### 城西大学ルーブリック評価（薬局-指導薬剤師）





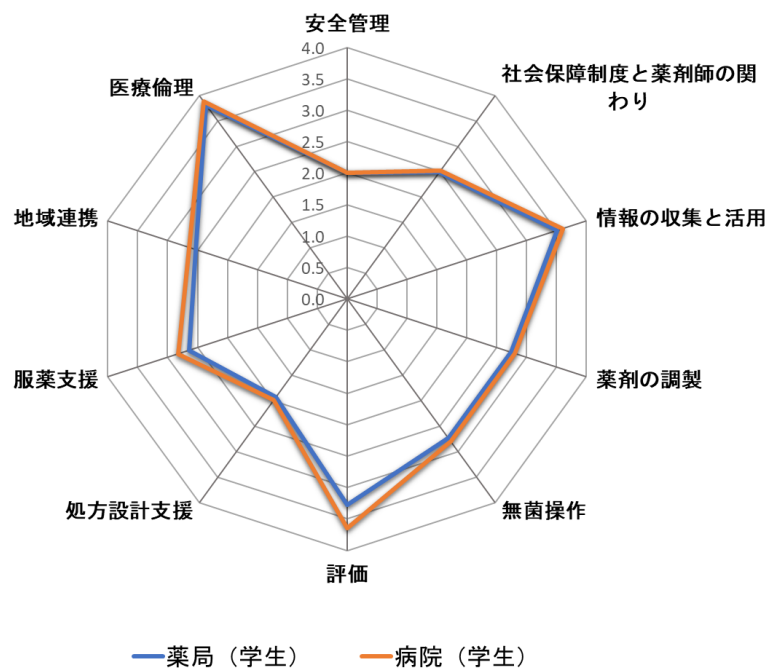
## 11. 病院実習の城西大学ルーブリック評価（指導薬剤師）

### 城西大学ルーブリック評価（病院-指導薬剤師）

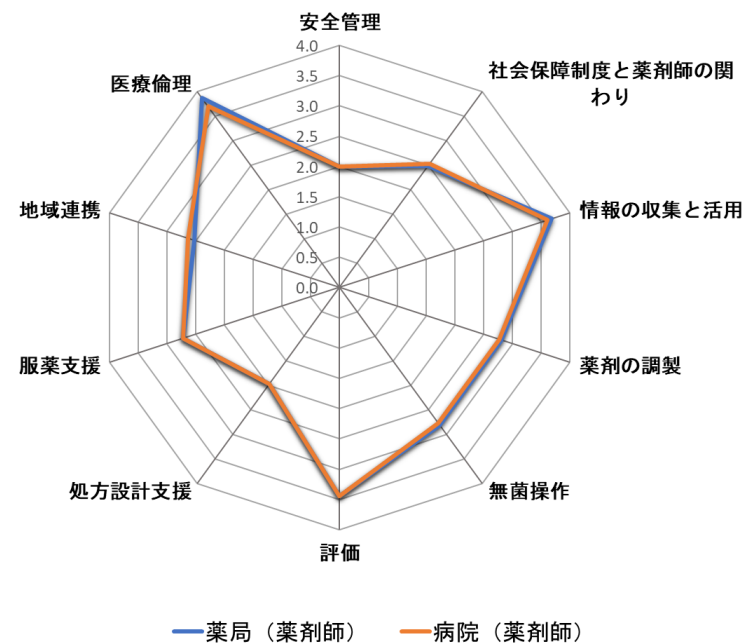


## 12. 城西大学ルーブリック評価：薬局実習と病院実習の比較

### ルーブリック評価薬局-病院比較（学生）



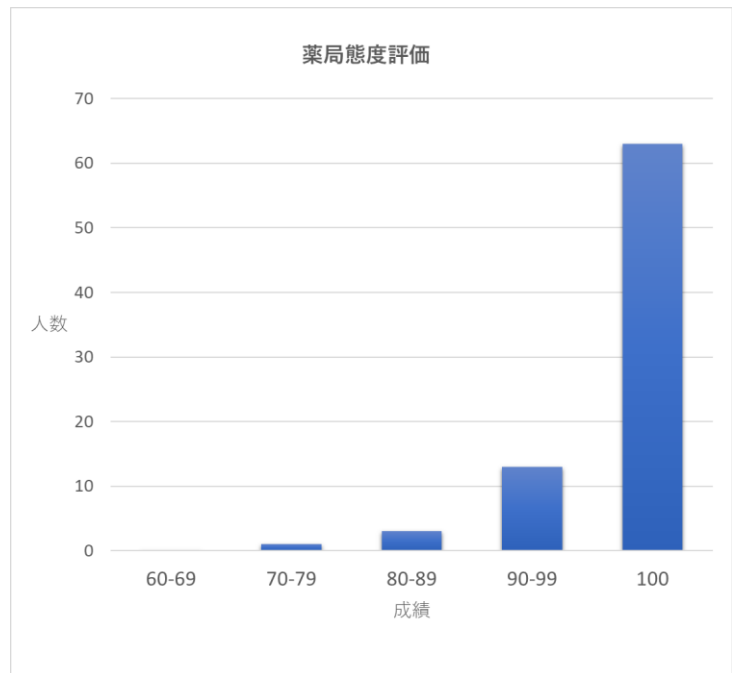
### ルーブリック評価薬局-病院比較（指導薬剤師）



### 13. 2019 年度 1 期藥局 2 期病院態度評価分布

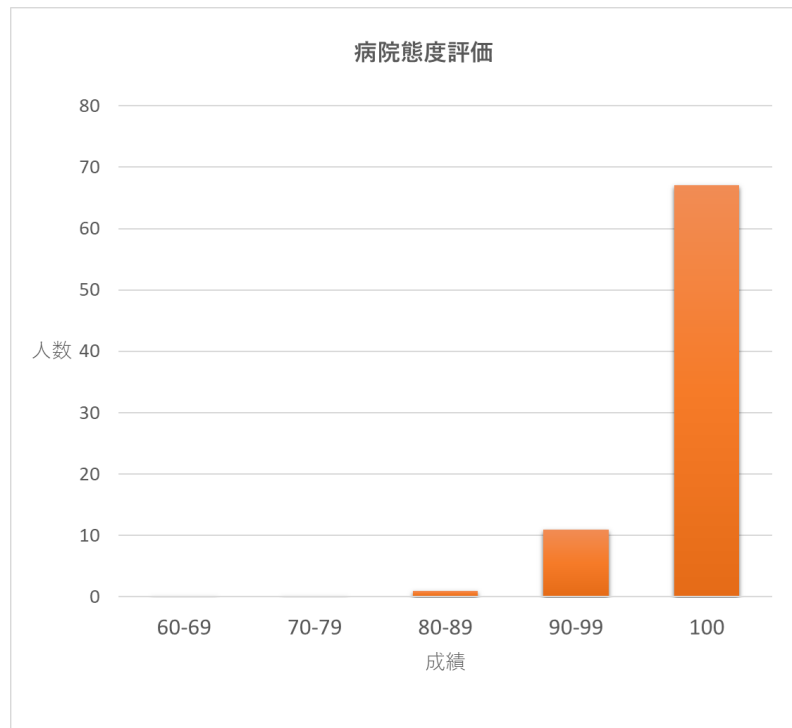
#### 薬局

態度評価	人数	%
60-69	0	0.0%
70-79	1	1.3%
80-89	3	3.8%
90-99	13	16.3%
100	63	78.8%



#### 病院

態度評価	人数	%
60-69	0	0.0%
70-79	0	0.0%
80-89	1	1.3%
90-99	11	13.9%
100	67	84.8%



## 14. 実習態度（2019年度1期薬局2期病院154名）

項目	薬局				病院				合計回数	合計人数	総平均
	人数	回数	最大値	平均	人数	回数	最大値	平均			
欠席	8	12	2	0.15	9	10	2	0.13	22	17	0.14
欠席(事前連絡無し)					1	1	1	0.01	1	1	0.01
遅刻	3	7	4	0.09	1	1	1	0.01	8	4	0.05
遅刻(事前連絡無し)											
早退(連絡無し:欠席扱い)	2	2	1	0.03	2	2	1	0.03	4	4	0.03
指示・注意に従わない(著しい不良:大幅な追加減点)	2	3	2	0.04					3	2	0.02
言葉使い・態度の不良(著しい不良:大幅な追加減点)	1	2	2	0.03					2	1	0.01
レポート再提出					1	1	1	0.01	1	1	0.01
レポート提出遅れ(正当な理由書無し:大幅な追加減点)	1	1	1	0.01					1	1	0.01
携帯電話の使用(メール含む)	1	2	2	0.03					2	1	0.01
白衣忘れ	2	2	1	0.03	1	1	1	0.01	3	3	0.02
名札未着用											
不適切な履物											
不適切な髪型					1	1	1	0.01	1	1	0.01
飲食物の持込み(ガム等も含む)											
イヤリング											
マニキュア・ネイルアート											
荷物・バック等の持込み(所定の場所以外)											
その他身だしなみの乱れ											

(平均=回数/総人数)

## 15. 2019 年度 1 期薬局 2 期病院実習成績評価方法

### 成績の評価方法

S, A, B, C, F により、成績評価を行う。このうち、S, A, B, C において、単位を修得したことを示す。

成績評価は、ルーブリック評価表を用いて行う。

S, すべての項目で 3 以上の評価であり、かつ態度評価表での減点項目がないこと

A, すべての項目で 2 以上の評価であり、かつ 3 以上の評価が 30%以上含むこと

B, すべての項目で 2 以上の評価であること

C, 2 以上の評価を 50%以上含み、かつ 0 と評価される項目がないこと

F, 上記 S, A, B, C の何にも該当しない場合

ただし、別に示す態度評価表に基づく評価において、60%未満の場合には単位認定を行わない。また、態度評価表に基づく評価の結果が 80%未満の場合、ルーブリックに基づく評価を、全て 1 段階下げて成績認定を行う。

## 16. 2019 年度 1 期薬局 2 期病院実習成績

評価	薬局 (人)	病院 (人)
S	0	0
A	74	71
B	1	4
C	5	4
F	0	0
中断	0	1
合計	80	80

### 成績に変化のあった学生

薬局	病院
C	A
C	A
F	A
B	A
A	B
A	B
A	B
A	B
A	C
A	C
A	中断
C	C
C	C

## 17. 実習中のトラブル事例（2019年度1期薬局2期病院）

〔中絶〕

1名。原因不明の病気のため入院と退院を繰り返したため。

### 問題1

おはようございます。失礼します。ありがとうございます等の挨拶が全くできませんでした。

スタッフ全員が、どうして黙って帰るのだろう。実習内容に不満があるのではないかいつも悩みストレスになっていました。(病院より)

### 問題2

他大学の学生に対して高圧的な態度をとっていました。その学生は精神的な苦痛を感じてご家族に相談していました。ご家族から連絡をいただき、我々の監督不行き届きということで謝罪しました。情報を共有したく連絡をさせていただきます。(病院より)

### 問題3

薬剤師が自分に辛くあたる。その薬剤師の評判が悪く薬局を変えて欲しい。(学生)